

祝

かわさきよしかず
川崎好和さん
(藤川 69歳)

農林水産大臣賞

五感を研ぎ澄ませ、芽を手で握る。
理想の芽は手に吸い付くように柔らかい。
川崎好和さんはそう話します。
第53回県茶品評会において見事、普通煎茶の部
最高位の一等一席(農林水産大臣賞)に輝きました。
いいお茶を作るため、絶対に手抜きをしない。
川崎さんのお茶づくりへの信念が実りました。

生葉以上の荒茶はできない。つまり“お茶に教わる”んだ。

厳しい気象条件を克服

4月25日、辺りが急に暗くなった
と思ったら大粒のひょうが降ってきた。
うちの茶園は川を渡らないと行
くことができず、すぐには行けない。
偶然、棚式被覆のワイヤーを修繕す
るために現場にいた。それが功を奏
した。もう45年お茶に携わっている
が、低温やひょうに悩まされること
が多く、毎年同じ条件じゃないこと
ろが難しい。

「微気象」にこだわる

品評会とは栽培と製造の原点を勉
強するものだと考えている。極めよ
うと努力し続けたことが、結果につ
ながった。この技術を普通茶園に応
用し、良質な川根茶の生産に生かし
ていきたい。本町は上質なお茶づく
りに必要な「微気象」に恵まれてい
るとしみじみ感じた。また、受賞にあ
たり、関係機関およびお茶摘みの皆さ
んの協力と努力に心から感謝。これ
からも理想の芽を探究するため、力
を尽くしていきたい。



「川根本町エコツーリズムネットワーク」が平成26年度水資源功績者に輝きました

同会はエコツアーの通称で親しまれていて、現在の会員数は約70人。キャンプやトレッキング、田植え、ヨガなど多彩なプログラムを通し、「つながり」というキーワードにより町の地域資源を活かしたエコツーリズムを展開しています。事務局の神東さんは「豊富な水資源を活用し、これからの魅力あるプログラムを考えていきたい」と受賞を喜びました。

町の魅力を掘り起こし、発信する

「川根本町の自然・歴史・暮らし等を題材とした体験プログラムを実施することにより、水源地域である同町の活性化や他市町住民との交流の活発化に貢献している」として、国土交通省が選考する本年度の「水資源功績者」に川根本町エコツーリズムネットワーク(中澤荘也会長)が選ばれました。

全国から2個人・7団体が受賞



豊富なプログラムの一例